

〔法学新報〕第19卷10(225)号 明治42年11月1日

○中学卒業生の減少 文部省の調査に依れば明治三十六年三月の全国中学校卒業生総数九千八百七十七名夫れより漸次増加して四十年には一万四千七百四十一（マ）に達し名四十年には百八名を減し本年は四十一年より尚ほ五十二名を減少せり従て今学年の専門学校入学者は官立私立共例年より著しく減退せしか此間に在りて独り中央大学入学者の八十七名を増加せしは僅少なからも亦異数なりと云ふ